

こんばちは三原じゅん子です

NO.47 2021年 4月 10日

日本共産党 名張市議会議員

三原 じゅん子

すずらん台西4-202

電話 0595-68-3552

生活相談は
お気軽に！

3月議会報告

コロナ禍による生活困難への 相談窓口を求める



長く続くコロナ禍により、日々の生活がままならない事態があります。厚生労働省は「生活保護は権利です。生活保護を必要とする可能性はどなたにもあるものです。ためらわずにご相談ください。」と発信している。また、女性や子どもの自殺が全国的に増えている。困っている市民に寄り添う、総合的な相談体制が必要だ。



社会福祉協議会が申請窓口の緊急小口資金貸付金は214件3,740万円、総合支援金は122件6,825万円が支給されている。生活保護申請は269件。児童虐待は学校や保育所・幼稚園が休みで新規通報件数が減りR2年3月から5月で6件(R元年同時期29件)。DV相談は40件と(R元年32件)増えた。コロナ禍によるストレスが要因と考えられる。まちの保健室等を窓口に、地域教育総合支援ネットワークで、困っている市民を支援へと繋ぎ、伴走型の支援を続けていく。

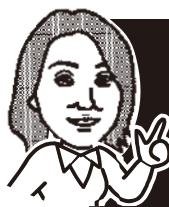


名張市は独自の生活支援はなく、増税はあり!!

コロナ禍の中で、名張市は市民の困窮にどう向き合っているでしょうか。国や県の支援制度があっても条件が合わず使えなくて生活に困窮する相談が寄せられています。他市では、財政調整基金を使って、ライフラインの水道料金の減免、学校給食費の無償化、介護施設でのPCR検査の補助などを行い、国からのコロナ対策臨時交付金が入った財源を充てています。しかし、名張市は財政調整基金が少なく、通常の財政運営の不足に充てている状態で、困っている市民への市独自の支援はありません。

2016年より独自超過課税を5年間行い、42億5千万円を市民から徴収しても、財政は良くなるどころか単年度赤字見込み額が8億円から11億円と増え、悪くなっています。

これまで通りの財政運営では、いつまでたっても財政の健全化はできず、市民負担が続きます。住民の生活は、リーマンショック以上に厳しい状況で、国においても固定資産税の値上がりは据え置く措置をとっているのに、名張市は逆に増税をしています。



本当に必要なものは何かを見極め、これまでの事業継続ではなく、コロナ危機に対応する予算に!!

4議員で予算組み替え動議を提出しました

コロナ禍での固定資産税増税延長予算に三原は反対しました。しかし、賛成多数で増税予算は可決、8億円が徴収されます。ならば、その8億円を今まで通りの使い方をせずに、財政調整基金に積む予算組み替えを求めました。

8億円をどう組み替えるか。

1、市立病院への繰り出しを減らす。

名張市立病院は、現在、医業収益に係る給与費が66.56%で高い数値となっています。これを平均の60%にする。そのためには、市民に信頼される診療を実行し、開業医との連携を図り、地域ケア病床を活用して入院の稼働率を上げることです。

2、補助金、交付金、委託料の見直し。

<例え>小学校給食の調理業務委託は、小学校6校が民間委託となっています。H22年度は6校の委託料は、6774万円でしたが、R3年度予算では1億1150万円の予算です。民間委託にするのは人件費削減が目的でしたが、委託料は上がり続けています。

3、入札制度の見直し。

4、すべての施策を2%削減

全ての課で事業を総ざらい見直して、8億円を財政調整基金に積む、そして、暮らしに困窮する市民を支えるために使っていくことを引き続き求めていきます。



4議員で 議員報酬削減を提案しました

名張市議会の議員報酬は、これまで5%の削減を行ってきましたが、それでも全国市議会議員議長会が公表している人口10万人以下の自治体の議員報酬平均より高い報酬額となっています。よって、議長は553,000円を470,000円に、副議長は476,000円を410,000円に、議員は430,000円を380,000円の全国平均にまで引き下げる提案をしました。

財政非常事態宣言が発令されてから19年、未だに市財政の健全化は果たせず、非常事態宣言は出されたままです。

『予算組替え動議』『議員報酬削減』を4人の議員で提案しましたが、それ以外の議員の反対で否決となりました。引き続き、同じ思いを持つ議員と市民のみなさんと共に頑張ります。

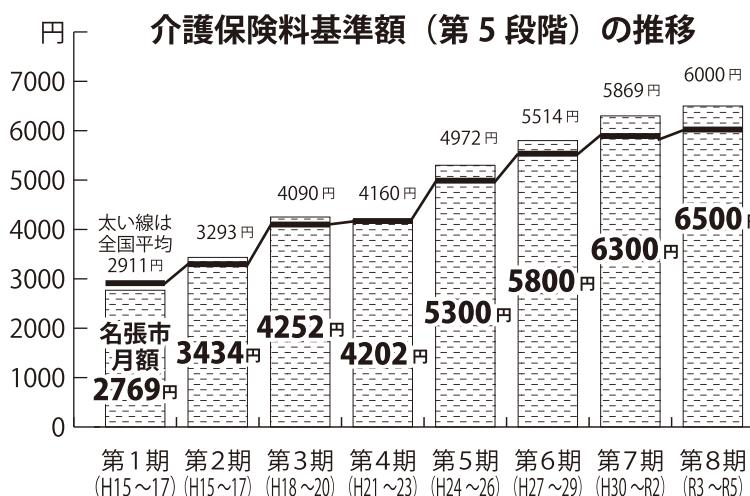
そのような事態であるのに、三重県下14市の中で、四日市市、津市、桑名市、名張市の順で、議員報酬は4番目と高い位置にあります。

すでに市長、副市長は30%の給料削減を続け、職員給与もこれまでの減額に加えさらに1億円に及ぶ減額がされます。議員が三重県下でも高い報酬、全国の10万人以下の類似自治体の平均より高い報酬にしておくわけにはいきません。



介護保険料値上げ、負担はもう限界！

介護保険料は介護保険事業計画に基づき、各市町村で3年ごとに見直されます。今改定では名張市の保険料は値上げです。



2020年はコロナ禍で、介護サービスの利用が全国的に減り給付が増えないので、他の自治体では基金を利用し、保険料の値上げしない努力がされています。

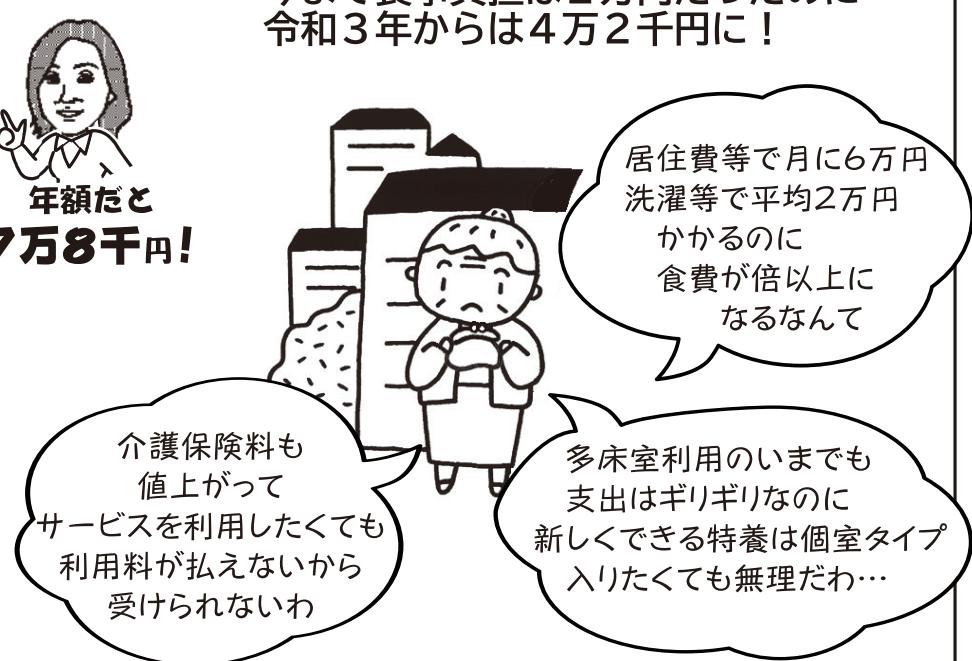
名張市は、7億円の基金の内3億円を取り崩して値上を抑えましたが、2021年に特別養護老人ホーム等が開設されるので、給付が増えることを見込んで、3年後の保険料の大幅な値上げを防ぐために基金の4億円はどうおくと担当課から聞きました。

高齢化が進み、特養のニーズは高まり、待機者は増えるばかりで、施設ができるることはよくても、入所に係る費用負担が高く、国民年金だけでは利用できない事態があります。

例えば
国の第8期事業計画では…

世帯の全員が住民税非課税で年金収入が80万円以上の介護施設利用者への捕捉給付が減額されます

今まで食事負担は2万円だったのに
令和3年からは4万2千円に！



高い介護保険料を払い続けても、利用料を払うことが出来ず必要な介護が受けられない事態です。日本共産党は、高齢者が安心して人としての尊厳を持って暮らしていくように、制度の根本的改正を求め、提案していきます。